

科学者委員会広報分科会（第 22 期第 28 回）議事要旨

1. 日 時 平成 26 年 7 月 11 日（金）16:00～17:30
2. 場 所 日本学術会議 5－D 会議室 5 階
3. 出席者 辻村みよ子委員長、北里洋副委員長、小森田秋夫幹事、
那須民江幹事、山川充夫委員、桃井眞理子委員、萩原一郎委員、
渡辺美代子委員
日本学術会議事務局企画課：高橋、伊藤、前田
日本学術協力財団：南、末次

【配布資料】

- 資料 1－1 第 28 回科学者委員会広報分科会出席者一覧
- 資料 1－2 科学者委員会広報分科会名簿（6 月 27 日現在）
- 資料 2－1 第 26 回科学者委員会広報分科会議事要旨公開版
- 資料 2－2 第 26 回科学者委員会広報分科会議事要旨詳細版（案）
- 資料 2－3 第 27 回科学者委員会広報分科会議事要旨（案）
- 資料 3 広報分科会における 23 期に対する申し送り事項（案）
- 資料 4 『学術の動向』平成 26 年 7 月号以降の掲載予定記事一覧
- 資料 5 現在寄せられている『学術の動向』特集記事等の企画案等
- 資料 5－1 ～ 各企画案

【参 考】

- 参考 1 日本学術会議関連イベントスケジュール

議 事

- （1）第 26 回及び第 27 回科学者委員会広報分科会議事要旨（案）について
- ・原案のとおり了承された。

- （2）日本学術会議の広報活動について

- ・広報分科会における 23 期に対する申し送り事項（案）について審議し、一部修正の上、承認された。

- （3）『学術の動向』について

『学術の動向』への編集協力について

<特集>

- ・平成 26 年 12 月号までの特集テーマについて以下のようなテーマで掲載することとした。（8 月号は小特集 3 つを掲載する変則的な編成であることを確認した。）

（8 月号）

- ・特集 1：『JAPAN PRIZE 受賞』
- ・特集 2：『学協会の新公益法人法への対応の現状と展望』
- ・特集 3：『地域研究の『粹』を味わう-現地から中央アジア、オセアニア、EU、東南アジアを読む』

(9月号)

- ・特集1：『地殻災害の軽減と学術・教育』
- ・特集2：『実践を変革する高度実践看護師の発展をめざして』

(10月号)

- ・特集1：『第3の科学「計算力学」の現状と課題』
- ・特集2：『アジアの経済発展と地球環境の将来：人文・社会科学からのメッセージ』

(11月号)

- ・特集1：『世界のオープンアクセス政策と日本』
- ・特集2：『福島第一原発事故にともなう放射線健康不安と精神的影響の実態および地域住民への支援』

(12月号)

- ・特集1：『材料の創製と高機能化を極める』
- ・特集2：『男女共同参画は学問を変えるか』

<表紙>

- ・8月号の表紙案の絵（JAPAN PRIZE 受賞）について承認した。
- ・9月号以降の表紙については、特集1の企画提出者に対して督促することとした。

<編集後記担当>

- ・平成26年12月号までの担当委員を決定した。

<その他>

- ・第23期広報分科会委員が確定するまで、『学術の動向』最終ページの編集委員の記載については現在の委員のままとし、新体制になり次第切り替えることとした。
- ・第23期スタート直後に日本学術会議会長と広報分科会委員長との座談会を開催し、その内容を『学術の動向』に掲載することとした。

(4) その他

- ・新たに広報分科会委員に就任した桃井委員が紹介された。
- ・現体制の広報分科会は今回が最後のため、議事要旨等についてはメールで確認することとした。

以上